

授業科目 老年看護学実習 II

【担当教員名】 袖山 悦子 他		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	135
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要】 老年期にある対象の健康障害の特徴を理解し、対象に応じた看護実践を学ぶ。					
【学習目標】 1. 対象の身体的・精神的・社会的特徴が説明できる。 2. 対象の健康障害の特徴が説明できる。 3. 対象の健康障害の特徴と日常生活動作を関連付けて説明できる。 4. 健康問題に応じた看護計画が立案できる。 5. 看護計画に基づき看護実践を行い、計画の修正・追加が出来る。 6. 看護計画の評価ができる。 7. 対象とどの家族を支援する他職種連携を知る。 8. 対象の意思、主体性を尊重した関わりが出来る。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
	1. 学内オリエンテーション 2. 病院実習（3週間）		1～8	受け持ち患者にあった演習・学習を行う 病院で1名の患者を受け持ち看護過程を展開する。	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ロイ適応看護理論の理解と実践 フィジカルアセスメントガイドブック 写真でわかる高齢者ケア 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント 老年看護実習ガイド	小田正枝（編集） 山内豊明 東京都長寿医療センター看護部編 村上美好監修 正木治恵編	医学書院 医学書院 インターメディカ インターメディカ 照林社	2009・2,730円＋税 2006・2,415円＋税 2010・2,500円＋税 2010・2,700円＋税 2008・2,800円
その他の資料					
【評価方法】 実習評価表で60点以上及び出席が実習時間の4/5以上であること			【履修上の留意点】 実習内容については変更の可能性があります。		